

ガラス・鏡・ステンレス/金属・FRPに付いた
油膜・水アカ・うろこ落とし

しゃらく

粗め・並・細め・極細/金属・FRP用



最新のカatalog・施工要領書の情報はホームページをご確認ください。 <https://www.miyaki.com>

業務用

- ① しゃらく 粗め (380g)
- ② しゃらく 並 (380g)
- ③ しゃらく 細め (250g)
- ④ しゃらく 極細 (250g)
- ⑤ しゃらく 金属・FRP用 (300g)

付属品: スポンジタワシ





粗め (380g)



並 (380g)



細め (250g)



極細 (250g)

特 長

- 水をあまり使わないで作業ができ、傷がつきにくい粘性タイプの超微粒子研磨剤です。
- ガラス・鏡にこびりついた油膜・水アカ・鱗状痕（うろこ）・シリカスケールを落とせます。

用 途

- 建物の窓ガラス
- 浴室の鏡・窓ガラス
- 乗り物の窓ガラス
- ステンレス
- 真鍮
- 陶器（洗面台・便器）
- タイル

使用できない基材

- 車のフロントガラス（※細め・極細のみテスト確認後、使用可）
- プラスチック製品
- 表面処理されたガラス・鏡
- ステンレスの鏡面
- メッキ製品

使用 方 法

- ①しゃらくの商品情報及び適合タイプ選択基準表をご確認の上、用途に応じて、『粗め』『並』『細め』『極細』を使い分けてください。
 - ②施工面に砂・泥・ゴミ・ホコリ等が残っていると傷の原因になりますので十分に水洗いして取り除いてください。
 - ③施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
 - ④付属のスポンジタワシにしゃらくをつけて磨いてください。
 - ⑤磨いた後は十分に水洗いしてください。
 - ⑥最後に乾いた布で拭き上げてください。
- ※汚れが落ちないときは、上記④⑤の作業を繰り返してください。
- ※『並』を使用する際は、栓を開けて容器ごと上下によく振ってからお使いください。また『粗め』『細め』『極細』を使用する際、成分の分離・沈降等が見られる場合は均一なペースト状になるようによくかき混ぜてからお使いください。
- ※電動ポリッシャーを使っても作業できます。

使用上の注意

- ①施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上で採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- ②研磨剤入りのタワシを使うと施工面に傷をつける恐れがありますので付属のスポンジタワシをお使いください。
- ③ステンレス・真鍮はあまり強く磨くと傷がつくことがあります。
- ④乾燥した状態で磨くと施工面が熱を持ち、傷ついたり割れたりすることがありますので施工面を霧吹きなどで軽く湿らせてウェットな状態を保ちながら作業してください。
- ⑤保護剤を塗布する場合、しゃらくが残留していると密着不良を起こします。洗浄後は十分に水洗いをして、十分に乾燥させてから塗布してください。
- ⑥必要に応じて、適切な保護具（ゴム手袋・保護メガネ等）をお使いください。
- ⑦口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。
- ⑧子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑨一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑩取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑪用途以外には使わないでください。施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量 (原液使用時) 10~20g/m²

※使用量は基材によって多少異なります。

■ ガラスのウロコ状水アカ除去



施工前



施工後

■ 浴室の石材のウロコ状水アカ除去



施工前



施工後

■ ステンレスの油膜磨き



施工前



施工後



しゃらくの商品情報及び 適合タイプ選択基準表を ご確認の上

用途・現場環境・ニーズにより使い分けください。

金属・FRP 用 (300g)

※ 作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。
※ 排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。
● ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用しておりません。
● 製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

特 長

- 水をあまり使わないで作業ができ、傷がつきにくい粘性タイプの超微粒子研磨剤です。
- 金属・FRPにこびりついた油膜・水アカ・鱗状痕（うろこ）・シリカスケールを落とせます。

使用できる基材

- ステンレス・真鍮などの金属全般
- FRP
- ※ 金属・FRP以外の基材につきましては、『しゃらく(粗め・並・細め・極細)』をご使用ください。

使用できない基材

- ステンレスの鏡面

使用方法

- ① 施工面に砂・泥・ゴミ・ホコリ等が残っていると傷の原因になりますので十分に水洗いして取り除いてください。
 - ② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
 - ③ 付属のスポンジタワシにしゃらく(金属・FRP用)をつけて磨いてください。
 - ④ 磨いた後は十分に水洗いしてください。
 - ⑤ 最後に乾いた布で拭き上げてください。
- ※ 汚れが落ちないときは、上記③④の作業を繰り返してください。
※ 成分の分離・沈降等が見られる場合は均一なクリーム状になるようによくかき混ぜてからお使いください。
※ 電動ポリッシャーを使つての作業もできます。

使用上の注意

- ① 施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上で採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- ② 研磨剤入りのタワシを使うと施工面に傷をつける恐れがありますので付属のスポンジタワシをお使いください。
- ③ ステンレス・真鍮・FRPはあまり強く磨くと傷がつくことがあります。
- ④ 乾燥した状態で磨くと施工面が熱を持ち、傷ついたり割れたりすることがありますので施工面を霧吹きなどで軽く湿らせてウェットな状態を保ちながら作業してください。
- ⑤ 保護剤を塗布する場合、しゃらくが残留していますと密着不良を起こします。洗浄後は十分に水洗いをして、十分に乾燥させてから塗布してください。
- ⑥ 必要に応じて、適切な保護具（ゴム手袋・保護メガネ等）をお使いください。
- ⑦ 口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。
- ⑧ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑨ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑩ 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑪ 用途以外には使わないでください。
施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方ではご使用をお控えください。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 10~20g/m²

※ 使用量は基材によって多少異なります。

■ 施工用具(別売り)



電動ポリッシャー(マジックパット付き)



ポリッシュパット(白)



浴室洗浄セット

しゃらくの商品情報

商品情報	粗め	並	細め	極細	金属・FRP用	備考
しゃらく粒径(ミクロン) μm	125 μm 以下	63 μm 以下	20 μm 以下	20 μm 以下	20 μm 以下	細め、極細ともに最大粒径は20 μm ですが、極細の方が粒径分布中心が小さくなっています。また、金属・FRP用も最大粒径20 μm ですが、粒子成分の違いにより細め、極細とは異なる仕上がりとなります。
しゃらく粒子のあらかさ	粗い 			細かい	細かい	
しゃらく粒子の成分	アルミナ系 シリカ系 セリウム系 			セリウム系	アルミナ系 (酸化アルミニウム)	粒子成分の硬度 (硬い)アルミナ系>シリカ系>セリウム系(軟らかい)
鱗状痕など症状の程度	重度				軽度	金属・FRP用
しゃらく使用による傷の危険性	高い				低い	細め・極細レベル 粗めは特に傷が入りやすいのでご注意ください。また粗め以外の商品でも、基材の種類によっては傷が入る可能性があります。

※ 上記の製品情報をご理解の上、下記の適合タイプ選択基準表をご参照ください。

しゃらく 適合タイプ選択基準表

基材	症状等	粗め	並	細め	極細	備考
基材が不明の場合						極細→細め→並の順に、各工程の結果を確認しながら使用してください。
ガラス	鱗状痕、水アカ					並から使用して、細めで仕上げてください。
	鱗状痕(重度)					粗めから使用した場合は、必ず仕上げに細めを使用してください。
	鱗状痕(軽度)					細め、極細は、使用可能なフロントガラスもある外車のフロントガラスは傷が入る場合あり。
鏡	鱗状痕、水アカ					鏡の場合は、極細で仕上ると良い。
	鱗状痕(重度)					粗めから使用した場合は、必ず、極細で仕上げてください。
	鱗状痕(軽度)					鏡の場合は、極細で仕上ると良い。
陶 器	鱗状痕、水アカ					鱗状痕、水アカの除去。
衛 生 陶 器	鱗状痕、水アカ					鱗状痕、水アカの除去。
磁 器 タイル	鱗状痕、水アカ					鱗状痕、水アカの除去。
御影石	水磨き					
	鏡面仕上					光沢値が高い場合は、粗めは使用しないでください。
大 理 石	鏡面仕上					光沢値が高い場合は、並は使用しないでください。
ステンレス 鏡面等以外						鏡面、ヘアラインは、並で傷が入る場合あり。
ア ル ミ						アルミ等の軽金属は傷が入る場合あり。
その他の金属	高硬度					力の加減で金属に傷が入る。
	表面メッキ					メッキは、剥げる場合あり。
	表面処理					金属の表面処理(塗装)は、剥れる場合あり。
F R P						劣化状態によって、傷が入る場合あり。
アクリル、ポリカ等の樹脂製品						劣化状態によって、傷が入る場合あり。

※ ステンレス鏡面等以外、アルミ、その他の金属、FRPにおきましては、金属・FRP用をご使用ください。
ただし基材の状態、力の加減によっては傷が入る場合がありますので、テスト確認後にご使用ください。

 傷が入る可能性あり

使用できない基材

・表面処理加工されたガラス・鏡	・ステンレスの鏡面	・金・銀・プラチナなどの貴金属
・メッキ・表面処理加工された金属	・プラスチック製品	
・鉄線入りガラス(電動ポリッシャーでの作業は不可)	・車のフロントガラス※ 細め・極細のみテスト確認後、使用可	